

「学校と家庭（地域）のパートナーシップ向上会議」の開催について

教育委員会教職員課

1 背景および目的

近年、いじめや不登校の増加、多様なニーズをもつ子どもへの個別支援の必要性の高まりなど、学校を取り巻く状況はより複雑になってきている。また、家庭環境や保護者等の価値観の多様化が進む中で、地域社会全体で子どもを育てるための関係づくりが一層重要になっている。学校においては、保護者等からの意見や要望等に真摯に対応したり、必要に応じて学校運営や教育活動の改善に活かしたりするなど、学校と家庭（地域）の信頼関係や連携・協力体制の構築に努めてきた。一方で、一部の保護者等からの過剰な苦情や不当な要求への対応が、教職員にとって相当の時間的・精神的な負担となる事例も散見され、学校組織として一貫性のある対応方針と支援体制の整備が喫緊の課題である。

そこで、北九州市教育委員会は、子どもにとって最良の教育環境の確保のため、保護者等とのパートナーシップの一層の向上を目指すガイドラインを策定することとなった。策定にあたり、具体的な経験や専門的な知見を踏まえた意見等を聴取するため、学識経験者や学校関係者のほか、民間有識者や保護者代表などからなる「学校と家庭（地域）のパートナーシップ向上会議」を開催することとした。

2 会議（全3回）のスケジュールおよび検討内容

回	日程（予定）	内容（予定）
1	令和8年 7～10月	● 本市が目指す学校と家庭（地域）のパートナーシップの向上について
2		● ガイドラインの方向性及び論点について
3		● ガイドライン（素案）について
		● ガイドライン（最終案）について



令和8年10月	● ガイドライン策定 ※ <u>録音機能付電話機の全校設置のタイミングに合わせて公表することを目指す。</u>
---------	--

取扱注意

「学校と家庭(地域)のパートナーシップ向上会議」 構成員一覧(案)

	区分	氏名	所属等
1	学識経験者	オオツボ ヤスナオ 大坪 靖直	福岡教育大学 名誉教授
2	弁護士	ヒロシゲ ジュンリ 廣重 純理	思永法律事務所 弁護士
3	民間有識者	シライシ リョウ 白石 晃	株式会社井筒屋 内部統制室 主席
4	民間有識者 保護者	ゴウダ フミコ 郷田 郁子	株式会社ミーガルワークス 代表取締役 北九州市教育委員会 教育委員（保護者委員）
5	保護者		北九州市PTA協議会より推薦
6	学校関係者	ウスキ サチコ 臼木 祐子	北九州市立清水小学校 校長
7	学校関係者	ナカガフ ユミコ 中川 由美子	北九州市立熊西中学校 校長
8	学校関係者	キタノ リカ 北野 里香	北九州市立小倉南特別支援学校 校長
9	学校関係者	イワイ シュンイチ 岩井 俊一	北九州市立曾根小学校 教諭

任期：委嘱の日（令和8年6月末ごろ）～令和9年3月31日

学校と家庭(地域)のパートナーシップ向上プロジェクト(案)

— 学校と家庭(地域)がよりよい関係を構築し、教職員が全力で子どもと向き合うために —

北九州市子どもまんなか教育プラン

学校における
業務改善プログラム
(第4版)

子どもを中心に「**学校と家庭(地域)**」の **良好な関係づくり**と **適切な対応**を両立

① 人づくり(研修)

- ・教員向け研修
(コミュニケーション研修)

・保護者との関係づくり
・初期対応力向上
・組織対応力向上

② ガイドライン策定

- ・有識者会議開催
- ・ガイドライン内容協議

・保護者対応スキル向上
・日常的な関係構築
・組織的な対応体制構築

③ 見える化(周知)

- ・学校掲示ポスター
- ・保護者向け資料

・ガイドラインの周知
・目的や内容の共通理解
・関係性重視のメッセージ

④ 環境整備

- ・録音機能付電話機
(全校)

・活用マニュアルの周知
・心理的安全性の確保
・過剰な苦情等の抑止効果

期待される効果

- 学校と家庭(地域)の健全かつ良好な関係性の構築
- 教職員の心理的安全性の確保、時間的・精神的負担の軽減による働き方改革の推進
- 学校の説明責任・信頼性の向上、組織的な危機管理能力の向上